

再 評 価 調 書 (案)

I 事業概要					
事業名	交通安全施設等整備事業（自転車歩行者道設置工事）				
地区名	主要地方道 名古屋豊田線				
事業箇所	日進市 三本木町地内				
事業のあらまし	<p>当該路線は名古屋市とそのベッドタウンである日進市・豊田市を結ぶ幹線道路であり、朝夕は通勤等の車両が集中するとともに、豊田市には採土場や工業団地があることから、大型車両の流入も多く見られます。また、当該区間周辺には高校や大学等の学校施設が集中し、通学のための自転車交通量が非常に多くなっているほか、当該歩道は近隣の小・中学校の通学路となっているにも関わらず、一部歩道が片側（南側）のみの設置となる区間や、十分な歩道幅員を有していない区間が存在することから、朝夕の通学時には徒歩通学する通学児童と自転車通学する中高生とが錯綜し、自転車の車道へのはみ出し走行が見られるなど危険な状況にあります。</p> <p>このため、歩行者及び自転車の安全性確保を主な目的として、自転車歩行者道整備を進めています。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者及び自転車の安全性の確保 ・危険通学路の解消 <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時	再評価時	変動要因の分析	
	事業期間	平成 17 年度 ～平成 22 年度	平成 17 年度 ～平成 30 年度	用地取得難航による事業期間の延伸	
	事業費（億円）	12.0	12.0	—	
	経費内訳	工事費	4.6	4.6	変動なし
		用補費	3.3	3.3	変動なし
その他		4.1	4.1	変動なし	
事業内容	歩道拡幅（L=0.945km）	歩道拡幅（L=0.945km）	変動なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>・当該区間の全延長の約8割が片側歩道であり、その幅員は2.0m程度と狭く、自転車歩行者道としての有効幅員が確保されていない状況にあります。当該路線の歩道は近隣の小学校ならびに中学校の通学路に指定され、また、区間内に立地する2高校（中部大学第一高校及び日進高校）及び、区間東側に位置する2大学（名古屋商科大学及び光陵女子短期大学）の通学にも利用されており、登下校時には自転車が車道へのはみ出し走行する状況が報告されるなど危険な状態にあります。また当該路線には主に豊田方面の採土場や工業団地へと往来するトラックや、駅と大学とを結ぶ路線バス、高校の通学バスなどの大型車両も多く流入し、自転車など相互の安全な交通に支障を来たす状況となっています。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>・自動車交通量は減少傾向にあるものの、自転車交通量は事前評価時の412台/12h（H11センサス）から、再評価時の572台/12h（H25実測）に増加しています。</p> <p>・整備が完了した区間については、歩道と車道の通行空間が分離されるとともに、歩行者及び自転車の通行に際し十分な幅員が確保され、安全性確保に寄与していますが、未整備区間については依然として危険な状況にあります。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>・通学路などの周辺状況、交通状況に大きな変動はなく、歩行者・自転車の安全な通行の確保の必要性に大きな変化は見られません。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>【理由】</p> <p>・歩行者・自転車の安全な通行の確保の必要性に大きな変化が無い。</p>																																																																																																																																																																																																																																																		
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1 工区</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="2">→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費 (億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="2">2.56</td> <td colspan="2">2.57</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td>0.17</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">1.23</td> <td colspan="2">3.73</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 工区</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費 (億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="2">3.79</td> <td colspan="2">3.08</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">4.38</td> <td colspan="2"></td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">0.38</td> <td colspan="2">1.20</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">合計 (億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="2">6.35</td> <td colspan="2">5.65</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">4.55</td> <td colspan="2"></td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">1.61</td> <td colspan="2">4.93</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業区間を1工区（橋梁部）と2工区（一般部）に分けて記載する。</p> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.95</td> <td>0.23</td> <td>23.7%</td> <td>0.95</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費(億円)</td> <td>12.00</td> <td>6.54</td> <td>54.5%</td> <td>12.00</td> <td>54.5%</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>4.65</td> <td>2.38</td> <td>51.2%</td> <td>4.65</td> <td>51.2%</td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td>6.60</td> <td>3.70</td> <td>56.1%</td> <td>6.60</td> <td>56.1%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.75</td> <td>0.46</td> <td>61.3%</td> <td>0.75</td> <td>61.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <p>・1工区（橋梁部）の用地買収および自転車歩行者道設置をほぼ完了し、平成25年度中の完成を予定しております。</p> <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】</p> <p>・1工区（橋梁部）の施工済み区間においては危険通学路が解消されました。</p>				H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	1 工区	工種区分	調査・設計	→			→		→		→						用地補償	→			→		→		→							工事			→	→	→	→	→	→	→						事業費 (億円)	計画	2.56		2.57						0.17						実績	1.23		3.73												2 工区	工種区分	調査・設計									→	→	→	→		用地補償	→			→								→			工事														→	事業費 (億円)	計画	3.79		3.08						4.38				0.91	実績	0.38		1.20												合計 (億円)	計画	6.35		5.65						4.55				0.91	実績	1.61		4.93													これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率【②÷①】	計画【③】	進捗率【②÷③】	延長(km)	0.95	0.23	23.7%	0.95	23.7%	事業費(億円)	12.00	6.54	54.5%	12.00	54.5%	工事費	4.65	2.38	51.2%	4.65	51.2%	用地費	6.60	3.70	56.1%	6.60	56.1%	その他	0.75	0.46	61.3%	0.75	61.3%
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																																																																																																																																																																																																																			
1 工区	工種区分	調査・設計	→			→		→		→																																																																																																																																																																																																																																									
	用地補償	→			→		→		→																																																																																																																																																																																																																																										
	工事			→	→	→	→	→	→	→																																																																																																																																																																																																																																									
事業費 (億円)	計画	2.56		2.57						0.17																																																																																																																																																																																																																																									
	実績	1.23		3.73																																																																																																																																																																																																																																															
2 工区	工種区分	調査・設計									→	→	→	→																																																																																																																																																																																																																																					
	用地補償	→			→								→																																																																																																																																																																																																																																						
	工事														→																																																																																																																																																																																																																																				
事業費 (億円)	計画	3.79		3.08						4.38				0.91																																																																																																																																																																																																																																					
	実績	0.38		1.20																																																																																																																																																																																																																																															
合計 (億円)	計画	6.35		5.65						4.55				0.91																																																																																																																																																																																																																																					
	実績	1.61		4.93																																																																																																																																																																																																																																															
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																																																																																															
	計画【①】	実績【②】	達成率【②÷①】	計画【③】	進捗率【②÷③】																																																																																																																																																																																																																																														
延長(km)	0.95	0.23	23.7%	0.95	23.7%																																																																																																																																																																																																																																														
事業費(億円)	12.00	6.54	54.5%	12.00	54.5%																																																																																																																																																																																																																																														
	工事費	4.65	2.38	51.2%	4.65	51.2%																																																																																																																																																																																																																																													
	用地費	6.60	3.70	56.1%	6.60	56.1%																																																																																																																																																																																																																																													
	その他	0.75	0.46	61.3%	0.75	61.3%																																																																																																																																																																																																																																													
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・1工区において、補償内容や代替地の選定などの用地交渉に時間を要したため。また、橋梁拡幅に伴う用水管付け替えの協議及び施工に時間を要したため（1工区はH25.7に供用）。</p> <p>・2工区については、平成26年度から本格的に用地買収に着手します。</p>																																																																																																																																																																																																																																																		
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>・2工区の用地取得については、地元及び日進市から歩道設置に対する強い要望があり、地元の合意形成が図られる環境にあることから、それほどの阻害要因にはならないと考えます。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>・残事業費約5.5億円で2工区約720mの平成30年度の事業完了を目指しております。</p>																																																																																																																																																																																																																																																		
判定	B	<p>A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 工区の用地取得については地元の強い要望もありそれほどの阻害要因にならないと考えられ、引き続き用地交渉を進めることにより平成 30 年度の事業完了が見込まれるため。
③事業の効果の変化	1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】</p> <p>—</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】</p> <p>本事業は、局所的な交通安全施設等整備事業であり、交通量推計条件に変化の考慮が困難な事業のため、算定不可とします。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】</p> <p>—</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>—</p>

2) 貨幣価値化困難な効果の变化

- ・貨幣価値化困難な効果としては、「事故多発箇所での事故数削減」、「交通弱者に対する安全性向上」、「自動車交通の多い区間における歩行者の安全性向上」があります。
- ・また、「貨幣価値化困難な効果 評価基準表」に基づき評価した評価値は事前評価時及び再評価時ともに、0.67となっています。

【事前評価時の状況】

達成目標 (建設部方針)	評価 対象 の判断	貨幣価値化可能な効果 評価基準表		
		評価項目	基礎点	得点
①交通安全対策の推進 1 安心・安全		<input type="checkbox"/> a) 事故多発箇所での事故数削減に寄与する	MAX3	1
		<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、レッドゾーン区間(死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間)、あんしん歩行エリアなど、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200~500件/億台キロの区間(イエローゾーン区間)など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 死傷事故率が200億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる	MAX3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> c) 自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される	MAX3	2
		<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画交通量4,000~20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000~10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	2			
<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する。	1			
合計			9	6
総合計			9	6
評価値			0.67	

【再評価時の状況】

達成目標 (建設部方針)	評価 対象 の判断	貨幣価値化可能な効果 評価基準表		
		評価項目	基礎点	得点
①交通安全対策の推進 1 安心・安全		<input type="checkbox"/> a) 事故多発箇所での事故数削減に寄与する	MAX3	1
		<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、レッドゾーン区間(死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間)、あんしん歩行エリアなど、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200~500件/億台キロの区間(イエローゾーン区間)など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input checked="" type="checkbox"/> 死傷事故率が200億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる	MAX3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業に該当する	3	
		<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2	
		<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	1	
		<input type="checkbox"/> c) 自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される	MAX3	2
		<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画交通量4,000~20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000~10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	2			
<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する。	1			
合計			9	6
総合計			9	6
評価値			0.67	

※道路・街路事業の評価マニュアル(平成25年3月 愛知県建設部都市整備課・道路維持課・道路建設課)による。

【変動要因の分析】

「事故多発箇所での事故数削減」

- ・事前評価時：平均事故件数 33 件、死傷事故率 104.09 件/億台キロで、得点は「1」
 - ・再評価時：平均事故件数 28 件、死傷事故率 97.01 件/億台キロで、得点は「1」
- 「交通弱者に対する安全性向上」
- ・事前評価時：小中学校の通学路が含まれており、得点は「3」
 - ・再評価時：小中学校の通学路が含まれており、得点は「3」
- 「自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上」
- ・事前評価時：本事業区間は3種道路で自動車交通量は13,500台/日程度(H17 センサス)であり、得点は「2」
 - ・再評価時：本事業区間は3種道路で自動車交通量は12,000台/日程度(H22 センサス)であり、得点は「2」

判定	A	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>
	【理由】	<p>貨幣価値化困難な効果について、事前評価時、再評価時ともに評価値が基準の 0.6 を超えており、事業着手時とほぼ同様の効果が見込まれるため。</p>
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後 年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>○事業区間における自転車及び歩行者の通行に係る安全性の改善状況</p> <p>○危険通学路の解消状況</p>		
V 事業評価監視委員会の意見		
<p> </p>		
VI 対応方針		
<p> </p>		